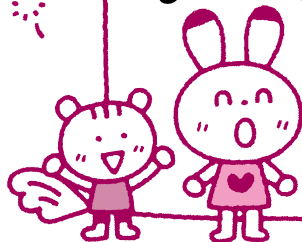


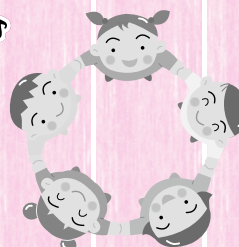
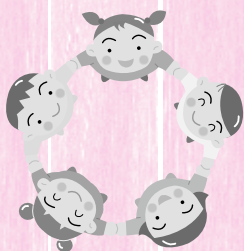


ラビット ランド

2023 12月



白梅幼稚園
TEL(22)3463・FAX(32)6702
ホームページ <https://www.shiraume-aizu.com>
会津保育園
TEL(85)7761・FAX(85)7762



全体目標

◎友だちと協力し創意工夫する意欲を養い、
自分なりの表現活動を楽しむ。

学年の目標

- 年長：目標に向かって取り組み、できた喜びを
味わうことで自身へとつなげる。
- 年中：クラスの友だちと集団遊びを楽しみながら
つながりを深めていく。
- 年少：表現力や生活力が育つ。
- 満3歳児：着脱や食事など簡単な身の回りのことを
自らやろうとする。
- 満2・1歳児：行事や遊びを通して保育者や友達と
関わり合う楽しさを味わう。

子育て支援

お近くに小さなお子様がいらっしやいましたら、ぜひご紹介下さい。

- ★園舎(10:00~11:30)
- ★園庭(10:00~14:00)
- …未就園児&保護者対象(無料)

●び～のび～の 無料(1歳半~就園前対象)

【完全予約制 / 10組限定】

9:45~受付 / 10:00~11:00

会津保育園で行っております。

12月7日(木) 体操マンと遊ぼう!

●バキークラブ 無料(0~1歳半さん対象)

【完全予約制 / 5組限定】

9:45~受付 / 10:00~11:00

アイアイプラスで行っております。

12月8日(金) 手作りおもちゃで遊ぼう

12月15日(金) 手作りおもちゃで遊ぼう

予約優先です。

参加される方はホームページよりご予約ください。



子どもの森 12月のスケジュール

3号認定児	1・2号認定児
1日(金)	白梅フェスティバル
4日(月)	幼稚園が生まれた日
5日(火)	お茶道(長)
6日(水) 個人面談(希望) 英語(保)	英語(少) 12月生まれ誕生会
7日(木) 個人面談(希望) ひーのびーの	体操(長) フェスティバル写真撮影(中・少) 英語(中)
8日(金) 個人面談(希望) 英語(満3) バギークラブ	英語(中)
11日(月)	FT(中) 英語(長)
12日(火)	もちつき力持ち大会
13日(水) 英語(保)	英語(少) FT(長)
14日(木) 英語(保)	体操(中) 英語(少)
15日(金) バギークラブ	2学期終業式 1号午前保育
16日(土)	冬の白梅会
18日(月)	個人面談(希望者) 1号冬休み
19日(火)	
20日(水) 防災訓練	個人面談 22日まで(希望者)
27日(水)	家庭協力日
28日(木)	家庭協力日
29日(金)~31日(日)	完全休園

＜お知らせ&お願い＞

★全体★

- ☆16日(土)は卒園児を対象に冬の白梅会が行われます。
- ☆12日(火)は園でお餅つきを行います。
- ☆12月18日(月)～1月9日(火)まで1号認定児さんは冬休みとなります。
- ☆27日(水)、28日(木)は家庭協力日となっております。日頃お忙しいお家の方にもお子様と過ごす時間を 持っていただきたいと考えております。給食の提供はありません。お弁当をご持参下さい。
- ☆12月29日(金)～1月3日(水)は完全休園となります。

★3・4・5歳児★

保護者参加の行事

- ☆1日(金)白梅フェスティバル
- ☆11日(月)年中ファミリーティーチャー(希望者)
- ☆13日(水)年長ファミリーティーチャー(希望者)
- ☆18日(月)、20日(水)～22日(金)は個人面談です。希望制となります。

★満1・満2・満3歳児★

- ☆6日(水)～8日(金)は個人面談です。希望制となります。



3園交流会が行われました！

11月18日(土)に姉妹園での3園交流スポーツ大会が行われました。親子でご参加いただいた方々、ありがとうございました。当日は、3園の混合チームに分かれたたくさん体を動かし、子ども体育研究所の先生方と一緒に、玉入れやリレーやゲームを楽ししい一時となりました。

初めて会うお友達と『頑張ろうね！』と声を掛け合う姿も見られ、お友達作りも出来たようです。今後も保育の中での交流をしていきたいと思ひます。



おおチーム、優勝おめでとう！



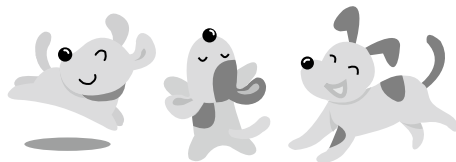
みんなで玉入れ楽しいね！

さつまいもパーティー

園の畑でお芋ほりをした日から、「焼き芋いつ食べるの？」と自分たちで掘ったお芋を食べることを楽しみにする声が聞かれていました。そんな待ちに待った焼き芋パーティー、窯の前に集まった子どもたちから、「なんか、匂いがするよ」「煙の匂いだ！」「甘い匂いもするよ」と気が付いて話し合う姿がありました。ほくほく甘～い焼き芋を食べて、表情までほくほく。秋の味覚を、触って・嗅いで・食べて、満喫した子どもたちでした。



焼ききたて、ほくほくだね！



食育コラム

～会津短期大学・鈴木秀子先生より～

真っ赤な紅葉の落ち葉で埋め尽くされた柳津虚空蔵尊の参道を抜けると赤い鉄橋が見えて、よく見る観光PRどおりの光景。さらに、帰路の只見線の車窓からは田んぼ一面に白鳥。会津の自然の素晴らしさを実感しています。

先日、某保育園の食育を見学しました。収穫祭の行事で、子どもたちが豚汁と焼き芋を作ります。まずは、栄養士さんから、深目のプランターを使ってみんなで栽培した小ぶりの葉つき大根と、園内の小さな花壇で栽培した立派なサツマイモを見せてもらうと、一斉にわあ～と感嘆の声が上がりました。その後、手順の説明を受けた後、子どもたちはエプロンと三角巾を身につけ、手洗いを済ませると、いよいよ調理開始。大根は、子どもたちが栽培したものでしたし、当時スーパーでは1本が300円と異常な高値だったこともあって、小ぶりでも貴重な白いお宝に見えました。子どもたちの小さな猫の手が、縦

1/4に割った大根を大事そうに押し、包丁を手前から向こう側へスライドさせて切っていきます。ゆっくり、ゆっくり。大人顔負けの手捌きで包丁を操ります。不安げな表情の子どもたちには、手慣れたお友だちや保育士さんが声援をかけて何とか無事終了し、大根は給食室へ。続いてサツマイモの下ごしらえ。まずは新聞紙で包み、水で濡らしてからアルミホイルで包んで完成。そしてもうひとつのお楽しみの焚火へ。子どもたちが公園で集めた落ち葉の中にアルミホイルで包んだサツマイモを埋め着火。途端に子どもたちの歓声が園庭が沸き、ほどなくして焼き芋の完成。今では珍しい落ち葉の焚火で焼いた芋。焚火の香りとともに味わった焼き芋は、しっとり甘く絶品でした。小さいころからの体験の大切さを感じるとともに、園の先生方が、子どもたちが最大の体験ができるように尽力してくださっていることに感激しました。

さて近年、焼き芋が人気です。学生は「自分にご褒美」で買うそうです。サツマイモをアルミホイルで包み、魚焼きグリルに入れ弱火で30分、そのまま10分ほど放置するだけで簡単においしい焼き芋が作れます。

会津大学短期大学部 鈴木秀子

※秀子先生からのコラムは月の中旬に頂くため、内容が前後していることもあります。

社 会 め ぐ り

年長

河原田 未来

園庭から走っている電車を見るといつも手を振り喜んでいる姿もあり、今回電車に乗れることを楽しみにしていました。駅につくと人の多さや、改札口、電車の音、駅長さんなど、目を惹かれる物で溢れており、子どもたちもワクワクでした。駅長さんへの質問コーナーでは「何時まで働いているんですか」「壊れたらどうするんですか」など知りたかった事や働く人への「ありがとうの言葉で頑張れる」ということを教えて頂きました。いちばん楽しみにしていた電車にも乗ることができ、働く人への感謝の気持ちと楽しみで溢れた社会めぐりとなりました。

勤労感謝の日にちなみ、年中組さんと年長組さんが、働く方々に感謝の気持ちを届けに行ってきました！「ここではどんなお仕事をしているのかな？」と見学し、教えて頂くことで、お仕事をする大変さとみんなの為に頑張って下さっているということが分かり、感謝の思いを持つ良い機会となりました。



改札上手く通れるかな～



景色もきれいだったね

年中

星 鈴果

避難訓練で消防士さんが来園したことで、興味を持ち始めた子どもたち！消防署の方に、見学に行ってきました。ずっと楽しみにしていた消防車の中を見せてもらい、ホースの使い方の説明や特別に消防士さんが着用している服を着させてもらいました。消防士さんの説明ごとに、「消防車の水はどこからきているのかな？」「消防士さんはいつ寝るのかな？」など聞きたいことがいっぱいワクワクしていた子どもたちでした！帰りには、「消防士さんみたいになりたい！」と夢に向かって期待を高める姿が見られ、とても充実した社会めぐりになりました。



ホースってこんなに長いんだね！



消防車の前でハイ、ポーズ☆

年少

小原 花南

パン屋さんに行ってきました☆みんなの手をつないで出かける大好きなお散歩。その途中いつも漂うおいしい匂いのパン屋さん！いつか行ってみたいとみんなで憧れていたコパンさんについてお邪魔してきました。入口の所の窓から厨房のパン作りをのぞかせていただいた後、実際に店内へ…出来立てのパンの陳列棚の前を少し緊張しながら通り抜け、みんなの代表として先生がお買い物するところをじっくり観察、お勉強させて頂きました。地域社会との温かいふれあいを通してまた1つ大きく成長出来ました。



パンのおいがする～！



おいしそうだなよ！！

園長 橋本希義

最後の月齢走12月になりました。いまだ世界情勢は不安を募らせ、国内では格差が広がり少子化問題は「異次元の少子化対策」が国の姿勢です。しかし幼児期大切な子育てを行う施設が、どこか置いておかれているように思えます。

保護者にとっても子どもにも、公平で良質な保育・教育環境にする制度の充実を願います。

さて園では、子ども達の熱気があふれています。今月は、今までの経験や活動を表現するために発表会が開催されます。子ども達は、課題を持ち自分の知識の中で発達に沿った言語・表現で発表活動を行います。またお友達や他のクラスの発表に興味関心を示し自己の内面を高めて行きます。

そのような活動場面である発表会です。保護者の皆様には、お子様の成長の一環を大きな拍手で盛り上げて頂ければ幸いです。

◆家庭教育を考える

最近子育てにおいても考え方の違いがあり差が大きくなっている事を感じています。しかし子どもに捧げる親の気持ちは、皆同じです。年の瀬に平和な世界のために考えてみてください。

「娘の霊にささぐ」という一文を紹介します。

東京家庭教育研究所を創設した小林謙策氏(故人)の記したものです。小林さんが家庭における子どもの教育がいかに大切かを身にしみて感じたのは昭和30年6月ただ一人の娘に突然、自殺されたときからです。

小林さんは長野で中学校の校長をしていました。

人さまの大切な子どもをあずかって教育しなければならないという立場の者が、自分の娘の教育さえ満足にできなかったのはなぜか。

十九年間の娘に対する教育のどこが間違っていたのか。平和で楽しかったはずの家庭に突然襲った、苦しみが厳しく小林さんを反省させました。

「私は家庭における子どもの育て方に大変な間違いを犯しておりました」と小林さんはいいます。

自身が勝気で負けず嫌いだったから、娘に対しても、小さい時か

ら「えらくなれ」といって育ててきた。大きくなると、さらにその上に「人よりえらくなれ」といった。「娘は小学校、中学校、高等学校までは、自分の思い通りに伸びていったが、東京の大学に行ってから、そうはいきませんでした。あらゆる努力をしても、自分よりすぐれているものが幾多あることを知ったとき、もはやわが人生はこれまでと、生きる望みを失い、新宿発小田原行の急行電車で投身自殺をしてしまったのです。遺された手紙には「両親の期待にそうすることができなくなりました。人生を逃避することは卑怯ですが、いまの私にはこれよりほかに道はありません」と書かれ、さらに、「お母さん、ほんとうにお世話さまでした。いま私はお母さんに一目会いたい。お母さんの胸に飛びつきたい。お母さん、さようなら」と書いてありました。「それを読んだ妻は気も狂わんばかりに子どもの名前を呼び続け、たとえ一時間でもよい、この手で看病してやりたかったと泣きわめくのです」小林さんはいいます。考えてみれば、子どもは順調に成長してゆけば、誰でも「えらくなりたい」と思うもの。はえば立ちたくなり、立てば歩きたくなり、歩けば飛びたくなる。

これが子どもの自然の姿です。子どもは無限の可能性を持って伸びよう伸びようとしています。それなのに自分は愚かにも娘に、「人よりえらくなれ」といい続けてきた。自分の最善をつくしなさいだけで、娘は十分伸びることができたはずですが。私は娘の死によって、以後の人生を小林さんは家庭教育の重要性を痛感し家庭教育の探究と普及に捧げる人生を生きられ、平成元年に亡くなられました。自分の最善をつくしなさい。

小林さんが一人娘の自殺という悲しみのどん底でみつけた真実の言葉。その言葉こそ、人を育てる最も大切な言葉です。

その言葉をいま、自らの人生を懸命に生きている

すべての人に贈りたいと思います。

坂村真民さんの詩があります。

「小さい花でいいのだ 人にほめられるような大きな美しい花ではなくだれからも足をとめて見られなくてもいい本当の自分自身の花を咲かせたらしいのだ それを神さま仏さまに見てもらえればいいのだ」

